赤ちゃんから高齢者まで やさしさとかかりやすさをめざして

公益社団法人
北海道勤労者医療協会
勤医協札幌病院

広報誌

2018.3 20

小児科

事務 西川 千佳　看護主任 佐藤 睦恵　看護師 佐々木 咲江　事務 工 和代
看護師 佐藤 環　看護師 中川原 由華　看護師 石間 峰子　看護師 米山 恵吏
看護主任 多屋 佳葉　副院長・小児科科長 岡田 靖　小児科医 川真田 伸子　看護師長 下川部 幸恵

菊水こども診療所が勤医協札幌病院内へ

勤医協札幌病院 小児科 開設

勤医協菊水こどもデイサービスセンター 病後児保育（乳幼児健康支援デイサービス事業）

菊水こども診療所が勤医協札幌病院内へ

勤医協札幌病院 小児科開設

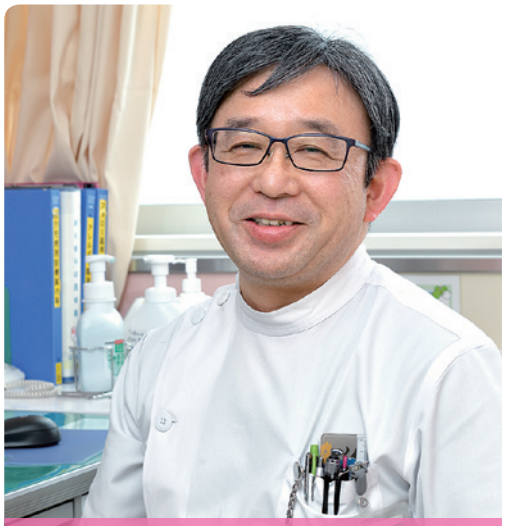
「菊水こども診療所」が、隣接ビルから勤医協札幌病院２階へ移転。２月27日から新しい診察室で診療を開始しています。同じフロアにはX線検査室や超音波検査室、耳鼻咽喉科や産婦人科などがあり、検査や他科への受診がスムーズになりました。

小児専門医が継続的に診察するメリット

移転後の小児科でも、菊水こども診療所の岡田靖医師が継続して診療を行っています。これまで通り、子どもの日常的な病気、乳児健診、ワクチン接種などに対応するほか、子どもの心身の成長や発達などの相談にも応じています。

岡田医師は小児専門医がかかりつけ医として継続的に診察するメリットを「子どもの個性や体質を把握した治療やアドバイスができますし、かぜや腹痛などの日常的な疾患の診察を行いながら専門治療が必要な疾患の疑いがあった場合には、迅速に適切な専門医や医療機関を紹介できます」と説明します。

乳児の成長の遅れが心配な場合も、個人差なのか、何かしらの疾患が影響しているのかを早期の段階で医学的に見極める必要があるため、「放置せずに診察を受けてください」と呼びかけています。



副院長
小児科科長 岡田 靖（おかだ やすし）

1985年　旭川医科大学卒
【資格】日本小児科学会専門医

勤医協札幌病院 小児科の特徴

● 経験豊富な医師が診察を担当

日本小児科学会専門医を取得している医師３人に加えて、総合診療医･家庭医も外来診療、健診などを行っています。

● 耳鼻咽喉科との連携がスムーズ

小児科の隣に耳鼻咽喉科があり、子どもに多い耳鼻科疾患の診察や処置を専門医にお願いすることができます。

● 他科の診察を受けやすい

内科や眼科、産婦人科などほかの診療科を受診できます。

小児科　常勤医：岡田 靖、川真田 伸子、小林 秀樹 ／ 非常勤 5人

子どもの気持ちに添う看護「プレパレーション」

子どもたちが処置や検査を受けるとき、「自分に何が起こるのか」をイメージできずに不安や恐怖を感じて泣き叫んだり、逃げ回ったりすることがあります。そのため、当科では「プレパレーション」による小児看護を実施しています。

多屋佳葉看護主任は、「プレパレーションとは、医療を受ける子どもの不安や恐怖感を予防・緩和し、健全な心の発達を支援することです。多くの小児科では処置中に子どもが暴れると危険なため、押さえることで安全を確保しています。当科も同じでしたが、本当にそれは正しいのかと疑問に思ったことをきっかけに、2005年に勉強会を開催し、準備を進めました」と導入の経過を話します。

0歳児にはおもちゃで気をそらし、2、3歳以上には年齢に合わせた言葉で「これから何が始まるのか」を説明します。処置が初めての子どもや不安が強い子どもには、絵本の読み聞かせをするように、タブレットなどに表示させたイラストで処置や検査の手順を伝えることも行っています。2007年からは、子どもがよりリラックスできるよう、処置の場面に保護者の同席をお願いしています。

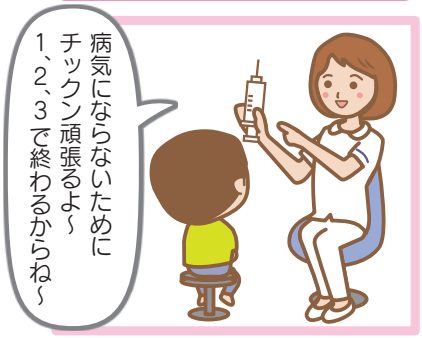
「子どもが大泣きして暴れる状況が大幅に減り、処置の説明もリラックスして聞いてくれるようになりました。押さえつけなくても、幼い子どもに安全に医療を提供できます。頑張った子どもが自信を持てるようになったり、達成感を持って帰ってくれていることがうれしいです」と笑顔で話します。

プレパレーションの成果をまとめた看護研究を2008年からこれまでに18演題発表するなど、小児看護のスキルを向上させています。

タブレットを使って子どもに注射の説明をする多屋佳葉看護主任

昔の小児看護

プレパレーションによる小児看護（ワクチン接種の場合）



就学援助を受けられている小中学生の保護者の方へ

無料・低額診療制度

北海道勤医協では、医療費の支払いが難しい方に対して医療費の減免または免除を行う「無料・低額診療制度」を実施しています。就学援助を受けている児童・生徒さんの場合、同一世帯のご家族も対象となります。

相談窓口 まずは電話でご相談ください
医療福祉課
☎011－820－1253（直通）

受付時間		
	月～金	9：00～12：30
		13：30～17：00
	第1・3土	9：00～12：30

こんにちは！勤医協札幌病院です 20号
発行／公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協札幌病院
発行責任者／事務長 佐藤秀明
制作／有限会社 慶文社

勤医協菊水こどもデイサービスセンター　札幌市白石区菊水４条１丁目８－６ 南波ビル2F

病後児保育（乳幼児健康支援デイサービス事業）

子どもが病気なのに仕事を休めないときなどに

当センターでは、病気回復期にあって集団保育（保育園・幼稚園での保育）が困難なお子さんを、勤務の都合などで家庭で保育できない保護者に代わって、一時的にお預かりする『病後児保育』を行っています。

対象

札幌市内居住の生後５カ月～小学６年生

- 病気の回復期で、集団保育が困難な児童
- 保護者が、勤務の都合、傷病、事故、出産、冠婚葬祭などで家庭での保育が困難な児童

※かかりつけ医が病児保育の利用を認めていること

対象疾患

かぜ・胃腸炎など乳幼児が日常的にかかる病気、水ぼうそう・風疹などの感染性疾患、ぜんそくなどの慢性疾患

※異なる病気のお子さんを同室で預かることはありません

定員

１日４人程度（状況により変更あり）

利用時間

月～土　８：00 ～ 18：00

※日祝・８月15日・12月30日～１月３日を除く

利用料金

保育料3,000円＋給食費300円

※アレルギーのあるお子さんはお弁当を持参していただく場合があります。その際給食費はかかりません

※生活保護世帯・市民税非課税世帯・所得税非課税世帯には保育料の減免があります（要・証明書）

ご利用には事前に「児童登録」が必要です

児童登録票は、勤医協札幌病院小児科受付窓口、札幌市の各保健センターなどに用意しているほか、札幌市のホームページからもダウンロードできます。記入後、勤医協菊水こどもデイサービスセンターへ直接ご持参いただくか、ご郵送ください。

※市内6カ所のこどもデイサービスセンターのいずれか1カ所で登録すると、すべての施設でご利用いただくことができます（2018年３月現在）

勤医協札幌病院
裏手のビル２階にあります

お問い合わせ　☎011－823－9272（月～金 8：00 ～ 17：00／土 8：00 ～ 12：30）

勤医協札幌病院

〒003－8510 札幌市白石区菊水４条１丁目９－22
☎011－811－2246　FAX 011－820－1245
E-mail satu-soumu@kin-ikyo.jp
ホームページ http://www.satsubyo.com/

- 地下鉄東西線「菊水駅」１番出口から徒歩３分
- 勤医協中央病院との無料バス運行

※ホームページがリニューアル！スマートフォン、タブレットでも快適にご覧いただけます

病床数105床
【診療科目】内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、労働衛生科、神経科・心療内科、麻酔科（林 泉）
【専門外来】総合外来、循環器外来、呼吸器外来、腎臓外来、糖尿病・内分泌外来、リウマチ・膠原病外来、高齢者外来、禁煙外来、ロービジョン外来、アスベスト外来
【健康診断】特定健康診断、後期高齢者健康診断、各種がん検診、企業健康診断、人間ドック

基本理念

1. 赤ちゃんから高齢者まで、やさしい病院をめざします。
2. 安全・安心・納得の医療を実践します。
3. 憲法を守り、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

基本方針

- 地域に根ざし、保健予防から在宅医療まで、無差別・平等の医療を実践します。
- 地域の中で、医療機関や事業所・施設との連携を強め、患者さんに信頼される良質で安全、安心できる医療を提供します。
- お互いに学び、成長し合える職場、病院づくりに努力します。
- 患者さんの立場に立ち、民主的な集団医療を実践できる医療人の養成をめざします。
- 安心して暮らせる地域をめざし、憲法と平和、環境を守る取り組みをすすめます。